
平成21年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成21年3月6日

質問者（質問順）

- 1 榑原泰子 委員（公明党）
- 2 菅野義矩 委員（民ヨコ）
- 3 荻野慶子 委員（無所夕）
- 4 関 美恵子 委員（共産党）
- 5 坂井 太 委員（自民党）
- 6 横溝富和 委員（民主党）

病院経営局

局 別 審 査

1 榊原泰子委員（公明党）

1 包括外部監査報告書「病院間の資金運用」について

- (1) 包括外部監査で指摘を受けた場合、本市は、どのように対応しなければならないのか。
- (2) 病院間運用の金額は17年度から19年度までの決算でどのように推移しているのか。
- (3) 病院間運用はいつから行われているのか。また、20年度見込みと21年度予算案での金額はいくらか。
- (4) 病院間運用という会計処理について、どのように考えているのか。
- (5) 今回の指摘を受けて、病院経営局として、どのように対応していくのか。
- (6) 指摘に対して横浜市自らがチェックしていくべきであり、また、その後の対応についても明らかにしていくべきではないか。

2 脳血管医療センターの急性期医療の充実について

- (1) t-P Aについて、発症から投与までの流れはどうなっているのか。
 - (2) t-P Aについて、期待される効果は何か。
 - (3) 横浜市では、どのくらいの医療機関がt-P Aの治療に関わっているのか。
 - (4) 脳血管医療センターの脳梗塞患者の受入体制はどのようになっているのか。また、t-P Aの治療件数はどのくらいか。
 - (5) これまでの症例で、治療の結果はどうなのか。また、この結果をどのように評価しているのか。
 - (6) 今後、脳血管医療センターとして、どのようにt-P Aの治療に関わっていくのか。
 - (7) 脳血管疾患の救急の充実に向けて、今後、横浜市としてどのように取り組んでいくのか。
- (要望) 横浜市の脳血管疾患救急の充実に向けて、関係局の連携を十分に図ること

を要望する。

- (8) 横浜市内でS C Uを設置している医療機関はどこか。また、病床数はどのくらいか。
 - (9) 脳血管医療センターは、脳血管疾患専門病院であったにもかかわらず、なぜこれまでS C Uを設置できなかったのか。
 - (10) S C Uの設置により、医療の質の向上にどのように貢献するのか。
 - (11) S C Uはいつ頃、どのような体制で整備していく予定なのか。
 - (12) t-P A治療及びS C Uにより、在院日数の短縮は見込めるのか。
 - (13) 地域のクリニックと脳血管医療センターを結ぶいわゆる「連携パス」のようなものが必要かと思うが、どう考えるか。
- (要望) 他都市で行っているような地域連携パスを作成して地域全体で脳卒中医療を向上させることを要望する。

3 みなと赤十字病院のアレルギー疾患医療について

- (1) メール配信サービスの、昨年の登録者数及び今年の登録者の状況について伺いたい。
- (2) アンケート結果の今後の活用について伺いたい。
- (3) 遠隔医療システムの進捗状況及び利用者数の推移について伺いたい。
- (4) 利用している患者さんの意見には、どのようなものがあるのか。
- (5) このシステムでの患者さんへの具体的な緊急指示の内容及び効果について伺いたい。
- (6) 今後、遠隔医療を進めていく上での課題は、どのようなものか。
- (7) 遠隔医療なども含め臨床データから得られた成果を、市民や他の医療機関に情報発信していく必要があるが、今後どのような取り組みを行うのか。

4 市民病院の女性総合外来の現状について

- (1) 市民病院における女性総合外来の現状と実績について伺いたい。
- (2) 女性総合外来での年齢層と相談内容はどのようなものか。
- (3) 女性総合外来では他の診療科などと、どのような連携をとっているのか。

(4) 女性総合外来の今後の取り組みについて伺いたい。

(要望) 今後、多くの女性患者さんが利用できるように、より一層、女性総合外来の充実を図ることを要望する。

2 菅野義矩委員（民ヨコ）

1 経営改革の取組について

（1）市立3病院全体の取組について

ア 現行計画である「経営改革計画」の取組項目の達成状況について、どのように考えているのか。

イ 目標達成ができなかった取組項目はどういったものがあるのか、また、未達成の原因をどのように分析しているのか。

ウ 「中期経営プラン」には、「経営改革計画」の分析結果がどのように活かされているのか。

エ 「中期経営プラン」での各病院の経営方針を伺いたい。

（2）市民病院について

ア 市民病院では「がん」、「救急」、「感染症」の3本柱とした診療機能の充実に向けた取組を進めていくとのことだが、具体的にどのような取組を進めていくのか。

イ 取組を進めていく上でどのような課題があると認識しているのか。

ウ 経営改善に向けた取組を伺いたい。

（3）脳血管医療センターについて

ア 現行のプランでは達成できない「資金収支の均衡」について、達成できなかった主な理由は何か。

イ 次期計画の中で本当に達成できるのか。

ウ 病床の利用率の推移はどうなっているのか。

エ どのような方法で利用率を高めていくのか。

オ どのような予防事業を行っており、どのくらいの市民が参加しているのか。

カ 今後、どのように予防事業を展開していくのか。また、事業を通じてどのような効果を期待しているのか。

キ チーム医療にどのように取り組んでいるのか。

2 みなと赤十字病院の精神科救急医療について

- (1) 精神科救急医療の内容は、どのようなものか。
- (2) 精神科救急医療と精神科合併症医療の実績はどうか。
- (3) 精神科救急医療を実施するうえで、どのような課題があるのか。

3 荻野慶子委員（無所ク）

1 利用料金制の導入について

- (1) 本市施設における利用料金制の導入状況はどうか。
- (2) これまで利用料金制を導入しなかった理由は何か。
- (3) 利用料金制を導入することによるメリットは何か。
- (4) 利用料金制の導入により、指定管理者が料金を自由に設定できるようになるのか。
- (5) 本市の施設として、病院事業管理者が運営等に関し適切に関与すべきと考えるが、どう担保するのか。

2 市立病院における産科医療の充実について

- (1) 市民病院の産科セミオープンシステムについて
 - ア 産科セミオープンシステムとは何か。
 - イ 参加医療機関の状況はどうか。また、分娩件数全体に占める割合はどの程度なのか。
 - ウ 地域医療機関との連携はどのように行っているのか。
 - エ 地域医療支援病院として、産科医療をどのように充実させていくのか。
- (2) みなと赤十字病院の院内助産について
 - ア どのような妊婦が対象となるのか。
 - イ 院内助産に関わる助産師の体制はどうなっているのか。
 - ウ 入院から退院まで助産師はどのように関わるのか。
 - エ これまでに院内助産で、どの位のお子さんが生まれているのか。また、利用者の感想はどうか。
 - オ 院内助産を進める上で、課題はどのようなものがあるのか。
- (3) 産科医療の充実に向けて、横浜市として、医療機関と連携を図る中で、どのように取り組んでいくのか。

1 市民病院のNICUについて

- (1) 全国的にNICUが不足している現状について、どのように考えているのか。
- (2) 市民病院のNICUの病床数と、現在の利用状況について伺いたい。
- (3) 飛び込み出産といわれる患者さんもいると思うが、そのような場合の対応を伺いたい。
- (4) 現行のNICUの3床とは別に、あと3床NICUとして利用できる部屋を確保していると聞いてるが、その通りなのか。
- (5) NICUとして利用していない理由は何か。拡充する考えはないのか。
- (6) 新たに3床NICUを増やすと、看護師は何人必要となるのか。
- (7) 看護師8人を確保して、NICUを拡充する方向性はあるのか。
- (8) 一般財源を増額して、市民病院も含めた市内のNICUを拡充していく考えはないのか。

2 緩和ケア病棟について

- (1) みなと赤十字病院で、緩和ケア病棟を運営しているが、その評価と課題について伺いたい。
- (2) 市民病院における緩和ケア病棟の開床に向けて常勤医師を増やす計画があるのか。

1 21年度病院事業会計の予算編成について

- (1) 21年度予算案を編成した局長の所感について伺いたい。
- (2) 病院経営局が設置され4年経つが、その間、どのような成果があったのか。

2 一般会計繰入金等について

- (1) 一般会計繰入金の21年度予算案での病院別の繰入項目とその金額を伺いたい。
- (2) 一般会計繰入金について、21年度予算案では、どのように精査を行ったのか。
- (3) 市民病院、脳血管医療センター、みなと赤十字病院の20年度決算見込みを含めた、過去3か年の収支状況は、どのようなになったのか。
- (4) 脳血管医療センターには、多額の一般会計繰入金が繰り入れられているが、そのような状況の中で、多額の赤字を計上し続けているのはなぜか。

3 市民病院におけるがん対策について

- (1) これまでのがん対策の取組状況について伺いたい。
- (2) 緩和ケア病棟における治療内容について伺いたい。
- (3) がん診療連携拠点病院の指定要件の主な変更点について、確認のため伺いたい。
- (4) 市民病院における更新指定を受けるための課題は何か。
- (5) 今後のがん対策への取組について伺いたい。

4 市民病院における新型インフルエンザ対策について

- (1) 市民病院の抗インフルエンザ薬の備蓄状況について伺いたい。
- (2) 感染拡大防止のための器材等の備蓄状況について伺いたい。
- (3) 国のプレパンデミックワクチンの研究に対する市民病院の対応について伺いたい。

5 脳血管医療センターにおける救急の受入状況について

- (1) 脳血管医療センターでの救急患者の受入人数について伺いたい。
- (2) 脳梗塞や脳出血などの重症な脳血管疾患の手術件数について伺いたい。
- (3) 救急患者を受け入れる急性期の病棟である I C U の稼働率はどうなっているのか。
- (4) 脳血管疾患の救急において、救急隊との連携が必要と考えますが、連携に向けての取組状況について伺いたい。

6 脳血管医療センターにおける特別室料金の一部改定について

- (1) 平成 20 年度の特別室それぞれの利用状況はどうなっているか。
- (2) 特別室 A の利用状況が悪いが、その理由について伺いたい。
- (3) この特別室 A の利用状況を上げるために、具体的な対策を考えているか。
- (4) 他の特別室の料金については、見直しを考えているのか。
- (5) この見直しによる利用率の向上は、どの程度見込んでいるのか。

7 脳血管医療センターにおける地域連携の取組状況について

- (1) 医療ソーシャルワーカーの主な役割について伺いたい。
- (2) 患者の在宅復帰や他の病院、施設への転院などの支援を行っているとのことだが、どのくらいの患者に対応しているのか。
- (3) 退院した患者の在宅や病院・施設等への転院などいわゆる転帰は、どのようになっているのか。
- (4) 自宅に戻った場合、地域の医療機関とはどのような連携を行っているのか。
- (5) 地域医療機関から脳血管医療センターが患者を受け入れるための連携も必要と考えるが、どのように取り組んでいるのか。
- (6) 地域連携パスの取組状況はどうなっているのか。
- (7) 地域連携パスを推進するため、今後どのような対応を行っていくのか。

8 横浜市立病院中期経営プランについて

- (1) 「横浜市立病院中期経営プラン」の策定にあたり、どのように目標を設定したのか。
 - (2) プランの進捗管理をどのように行うのか。
 - (3) 病院内部における、プランの目標を達成するための推進体制について伺いたい。
- (要望) 今後も、医療の質の確保に努め、そのために必要な人材を確保することに尽力していただくことを要望する。

6 横溝富和委員（民主党）

1 市立病院の経営改善について

- (1) 市立3病院の局の設置前から現在までの一般会計繰入金の推移について伺いたい。
- (2) 直営2病院の現在の経営状況と「中期経営プラン」での収支目標について伺いたい。
- (3) 20年度に経常赤字となる見込みの市民病院について、どのようにして、再び黒字転換させていくのか。
(要望) さらに違う視点に立って、是非とも黒字に向け、いろいろな御努力をしていただくよう強く要望します。
- (4) 脳血管医療センターでは、現行計画で未達成の見込みとなっている資金収支の均衡について、どのようにして、達成していくのか。
- (5) 病院間資金移動について、包括外部監査人からの改善要望について、局長はどのような見解をもっているのか。
- (6) 脳血管医療センターは、医師が不足し、救急受入を一時的に制限するなど、センターの持つ機能が低下した経過があるが、現在どのような状況にあるのか。また、市民の方々や患者さんへの影響はあるのか。
- (7) みなと赤十字病院は、17年度に指定管理者制度を導入したが、導入当時計画した一般会計繰入金と、21年度予算案との差について伺いたい。
- (8) みなと赤十字病院は企業債償還が本格化しますが、今後の企業債償還はいつまで続き、総額としていくらとなるのか、また、企業債償還に係る本市が実質的に負担する繰入額は総額としていくらとなるのか。
- (9) みなと赤十字病院が政策的医療等を今後も確実に実施していくために、病院経営局として、どのように対応していくのか。
- (10) 21年度予算案の基本的な考え方に「持続可能な経営を見据えた抜本的な経営改善策の検討を本格化させる」とありますが、局長はどのような視点で検討を進めようと考えているのか。

2 医師・看護師不足対策について

- (1) 市立3病院の医師と看護師は充足しているのか。
 - (2) 市民病院とみなと赤十字病院の産婦人科医、助産師は充足しているのか、併せて、19年度の両病院の分べん件数について伺いたい。
 - (3) みなと赤十字病院の産婦人科医が常勤換算で3.5人とはどういう意味か。
 - (4) 市民病院と脳血管医療センターで、一旦退職し、再度採用につながった看護師数はどのくらいか。
 - (5) 市民病院と脳血管医療センターで、育児短時間制度を利用している職員はどのくらいいるのか。
 - (6) 病院事業にふさわしい人事・給与制度改革により、どのような成果があったのか、また、どのような課題があり、今後、どのように取り組んでいくのか。
 - (7) 国が外国人看護師候補者受入支援事業を行っているようだが、病院経営局の検討状況はどうか。
- (要望) 看護師業務は重労働であるとともにリスクも高く、今後、少子高齢化がさらに進む中では、さらに、看護師不足は避けられないことが予想されるため、外国人労働者に頼らざるを得なくなる状況に備える意味でも、前向きな検討を要望します。

3 政策的医療について

- (1) 市立3病院における政策的医療の実施状況と今後の取組について伺いたい。
- (2) 新型インフルエンザ対策について、感染を最小限に食い止めるにあたっての決意を伺いたい。

4 市民病院の老朽化・狭あい化対策について

- (1) 市民病院は、構造上の制約などから、どのような課題があるのか。
 - (2) 課題に対して、どのように検討していくのか。
- (要望) 地域医療全体の質向上に貢献し、公立病院として先導的な役割を果たすためには、病院機能の向上、患者サービスの向上の観点から再整備や最新の医療機器導入などに向けた検討をすべきであると考えます。

今後、市民の命と健康を守るためには、必要な設備投資については行うべきと考え、検討を進めていただくことを要望する。